

人々のおもいが集う吉野公民館

吉野公民館だより



(R5年12月号)

発行：鹿児島市吉野公民館 所在地 鹿児島市吉野4丁目4-3
電話：244-2566 FAX 244-2567
(公民館だよりは、市のホームページでも御覧になれます。)

令和5年度 吉野地域総合文化祭

11月11日(土)・12日(日)の両日、4年ぶりの総合文化祭が行われました。多くの方々
に文化講演会、展示・舞台発表などにご参加いただき、おかげさまで盛会となりました。地域住民、
社会教育関係団体、自主学习グループ等が一堂に会し、平素の学習成果や郷土芸能等を発表し鑑賞
し合う良き場になりました。ありがとうございました。

文化講演会では、演題「やさしい運動で健康寿命を延ばそう」
として、鹿屋体育大学の中垣内真樹教授にご講演いただきました。
私達一人一人が健康で充実した生活を送るための様々な手立てや
方法について、実技を交えて丁寧に教えていただきました。「具
体的な話で分かりやすかった」「今後活かしていきたい」など、
好評でした。



展示発表 (※写真は、発表内容の一部です。)



【吉野保育園】



【毛筆書道「游和会」】



【絵画クラブイレブン】



【鹿児島特別支援学校】

舞台発表



【吹奏楽演奏川上小】



【歌声さくら】



【茶の湯和の会】



【吉野楽しいフォークダンス】

令和5年度 吉野地域人権問題研修会

10月27日(金)、吉野地域人権問題研修会を行いました。

講師の石塚勝郎先生(日本教育カウンセラー協会評議員)には「人の心の痛みに寄り添って」と
いう演題のもと、様々な例話や豊富な体験をもとにした心にしみるお話をしていただきました。ま
た、講話の途中でレクリエーション活動や講師へのインタビューなども取り入れていただき、終始
和やかな雰囲気の中で研修会が進んでいきました。



現在、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題等にかか
わる様々な人権問題があります。誰もが幸せに生きるために、
私たち一人一人が人権問題についての正しい知識をもち、お
互いを尊重し、相手を思いやる人間関係を築いていかなけれ
ばならないことを再認識することでした。今後もお互いに人
権を尊重し合って、明るい地域社会づくりを目指していきたく
いものです。



図書室より



◇大掃除の由来◇

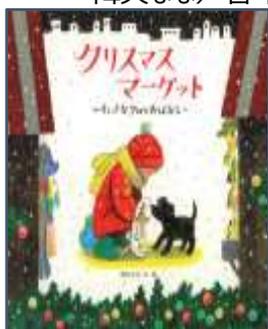


クリスマス絵本

新刊のご案内

『クリスマスマーケット』

降矢なな／著・福音館書店



『スノーマン』 クリスマスのお話

マイケル・モーパーゴ／作
評論社



年末になぜ大掃除？

大掃除の始まりは平安時代だと言われています。平安時代の宮中では、12月に一年の煤（すす）を払い神様を迎える行事が行われていました。この煤払い（すすはらい）の行事が現在の大掃除の由来の一つとなっているようです。

『家事の習慣』

お役立ち本で、
年末の大掃除。

大掃除の後の
『おせち料理』

参考本もあります。



♡おすすめ本♡

戦場でほんとうにあった奇跡のようなお話

『戦争をやめた人たち』

1914年のクリスマス休戦

鈴木まもる／文・絵 あすなる書房



☆ 資料については窓口にお問い合わせください。

「心豊かな土壌を」

社会教育指導員 松元 伊知郎

それは私がまだ20歳代の若かりし頃、教員になって初めて勤務した揖宿郡願娃町（現在は南九州市）の学校でのことです。

私は学級園の手入れをしていました。それほど大きくもない学級園です。先輩のK先生は、土を慈しむようにやさしく手でほぐすのが日課でした。私はというと、鋤で適当に耕していました。私が、「K先生、手でするのは面倒ですよ」と言うと、K先生は、「それは違うのよね。やさしくすると、花の咲き方が確かに違うんだよね。」と答えました。

花の咲く時期になりました。なるほど花の咲き方に大きな差が出たのです。K先生の学級園のサルビアは、色鮮やかに咲き誇っていました。わずかな差が大きな違いとなったのです。手間ひまかけた心配り・愛情が一番の肥料だったのです。

あれから約40年、植物だけではなく、日々接するいろいろな人たちに対しても、温かい思いやりや深い愛情を注いでいくことが大切だと痛感し、そして反省する日々が続きます……。